

# White Board

## 平成13年度文部科学省科学研究費補助金 研究成果公開促進費

「研究成果公开发表(A)」補助事業

第16回「大学と科学」公開シンポジウム「失われた  
反世界—素粒子物理学でさぐる」

日 時：平成13年11月10日(土)～11日(日)

場 所：仙台市情報・産業プラザ(仙台市青葉区中央  
1-3-1アエル内5F)

参加費：無料

第1日目 11月10日(土) - 10:00～17:00

A. 挨拶 名古屋大学 三田一郎

B. 基調講演 司会 北海道大学 石川健三

●人類が知り得た 素粒子世界

東京工業大学 坂井典佑

●反世界とは 名古屋大学 三田一郎

C. 反素粒子をつくる・素粒子をみる

司会 東北大学 鈴木厚人

●-加速器- 素粒子を光速へ

総合研究大学院大学 平田光司

●-測定器- 素粒子を捕らえる

高エネルギー加速器研究機構 住吉孝行

●-測定器- 素粒子を記録する

高エネルギー加速器研究機構教授 山内正則

D. 特別講演 司会 名古屋大学 三田一郎

●光とわたしの夢 浜松ホトニクス株式会社 晝馬輝夫

E. 反素粒子と素粒子の違いをみる

司会 東北大学 橋本 治

●-実験物理- 素粒子世界≠反素粒子世界 を証明

した 東京大学 相原博昭

第2日目 11月11日(日) - 10:00～15:15

F. 失われた反世界はどこへ

司会 北海道大学 河本 昇

●素粒子と宇宙創世 名古屋大学 池内 了

●素粒子, 反素粒子世界のちがいは何を教えるか?

東北大学 日笠健一

G. 反素粒子と素粒子を追う

司会 名古屋大学 北門新作

●世界最高記録を更新中

高エネルギー加速器研究機構 赤井和憲

●何故, 素粒子研究が重要なのか?

NHK解説委員室 高柳雄一

●素粒子探求のゆくえ

名古屋大学 大島隆義

後援 宮城県教育委員会, (社)日本物理学会, 日本

理科教育学会, 日本天文学会, 日本惑星科学会, (社)

電気化学会, (社)日本分析化学会, (社)日本分光学

会, 地球電磁気・地球惑星圏学会, (社)電子情報通

信学会, 放送大学, 日本学術振興会

お申込方法:

①住所・郵便番号・電話番号(自宅か勤務先かを明記)

②氏名・年齢・性別

③職業(勤務先・役職名)

④セッション名「失われた反世界—素粒子物理学でさ  
ぐる」

⑤参加希望日時をご記入の上, ハガキ、FAXまたは  
E-Mailでお申し込みください。

また, (株)アドスリーのホームページ上でも受け付け  
ております。

受講希望者には, 資料引換券を郵送します。

●お申込み・お問合せ先

「失われた反世界—素粒子物理学でさぐる」事務局

〒164-0003 東京都中野区東中野4丁目27-37

(株)アドスリー内

TEL: 03-5925-2840

FAX: 03-5925-2913

E-Mail: info@adthree.com

URL: http://www.adthree.com

## 北海道大学大学院理学研究科 地球惑星科学専攻地球惑星流体科学講座 助手公募

2001年8月9日

関係各位

北海道大学大学院理学研究科

地球惑星科学専攻・専攻委員 蓬田 清

教官の公募について(依頼)

謹啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、当専攻では下記により教官を公募することになりました。つきましては貴学(貴機関)の関係の方々への周知方よろしくお取り計らいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 職種・人員：地球惑星科学専攻地球惑星流体科学講座 助手・1名
2. 専門分野：地球惑星流体科学に関連する研究分野
3. 応募資格：博士の学位を有する者、または平成14年3月までに取得見込みの者
4. 着任予定時期：決定後できるだけ早い時期
5. 応募書類：
  - (1) 履歴書
  - (2) これまでの研究概要(2,000字程度)
  - (3) 研究業績目録  
(原著論文・著書・総説と学会発表等に分ける。ただし、和文のものは和文で表記すること)
  - (4) 主な論文別刷または著書 5篇以内(複写可)
  - (5) 今後の教育・研究の計画と抱負(2,000字程度)
  - (6) 応募者についての意見を伺える方2名の氏名と連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス等)
6. 応募締切：2001年10月31日(水)(必着)  
封筒の表に「教官公募(流体助手)関係」と朱書きし、書留にて郵送すること

7. その他：採用後は地球惑星流体科学講座内のいずれかの研究室に所属し、大学院教育研究を行ない、また学部教育においては、

http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/inex

http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/epnetfan

にあるような物理実験(情報技術を含む)の設計・運営も担当していただきます。

8. 書類の送付及び問い合わせ先：

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学大学院理学研究科

地球惑星科学専攻・専攻委員 蓬田 清

TEL: 011-706-2758 ファックス: 011-746-2715

E-Mail: yomo@ep.sci.hokudai.ac.jp

URL: http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp

## 北海道大学大学院理学研究科 地球惑星科学専攻(2001年8月9日現在)

### 地球惑星物質圏科学講座

教授 宇井忠英, 藤野清志, 小笹隆司, 蒲生俊敬

助教授 新井田清信, 菊地 武, 橋元明彦, 角皆 潤

講師 三浦裕行

助手 中川光弘, 土屋 篁

### 地球惑星進化科学講座

教授 渡辺暉夫, 岡田尚武, 鈴木徳行

助教授 藤原嘉樹, 在田一則

講師 川村信人, 沢田健

助手 岩田圭示, 前田仁一郎, 坂本竜彦

(以上2大講座が地球科学科(地球惑星物質科学)の学部教育を担当)

### 地球惑星流体科学講座

大気システム科学 教授 播磨屋敏生

地球惑星大気物理学 教授 渡部重十

助教授 倉本 圭

地球流体力学 教授 林 祥介

気象学 講師 遊馬芳雄

海洋物理学 助教授 見延庄士郎

陸水学 助教授 知北和久

助手(当該公募)

### 地球惑星物理学講座

陸水学

教授 浦上晃一

(平成14年3月退官予定, 選考中)

地震学及び火山学

教授 西田泰典,

助教授 笹谷 努

地球惑星ダイナミクス

教授 小山順二,

蓬田 清,

助教授 森谷武男

応用力学系

助教授 前田 亟

助手(欠員中)

### 地球惑星変動学講座(協力講座):理学研究科附属地震火山研究観測センター

教授 島村英紀, 笠原 稔, 岡田 弘

助教授 本谷義信, 高波鐵夫, 茂木 透, 大島弘光

助手 森濟, 西村裕一, 山本明彦, 勝俣 啓,

村井芳夫, 高橋浩晃, 青山 裕

(以上3大講座が地球科学科(地球物理学)の学部教育を担当)

付記:大学院地球環境科学研究科, 低温科学研究所, および総合博物館から数名の教官が教育協力

## 九州大学大学院理学研究院 地球惑星科学部門 助手公募

平成13年8月7日

関係機関長および関係各位

九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門  
太陽惑星系科学講座担当教授候補者選考委員会  
委員長 湯元 清文

### 教官の公募について

このたび, 九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門の太陽惑星系科学講座担当教授候補者を下記のとおり募集することになりました。つきましては, 関係者への周知について宜しくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。なお, 当部門は近い将来5大講座から3大講座への転換を計画しており, 当該講座の太陽地球

系物理学専門分野は流体圏・宇宙圏科学(仮称)講座の中の5専門分野のひとつとして再編される予定です。

### 記

1. 職種・人員 太陽惑星系科学講座担当教授 1名
2. 専門分野 太陽地球系物理学(太陽地球系の物理現象を理論・数値実験・総合解析を主体にした手法で研究し, かつ教育に熱意のある方を希望)。
3. 着任時期 平成14年4月
4. 提出書類

- (1) 履歴書
- (2) これまでの研究概要(A4用紙2枚以内)
- (3) 研究業績リスト(原著論文(査読の有無), 総説, 報告書, 著書に区分)
- (4) 主要論文の別刷3編(研究業績リストに○印を付す)
- (5) 研究・教育に対する抱負(A4用紙2枚以内)
- (6) 応募者を熟知し, 意見を聞ける方2名の氏名とその連絡先並びに応募者との関係

5. 公募締切 平成13年10月31日(水)

### 6. 書類送付先および問い合わせ先

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門  
太陽惑星系科学講座担当教授候補者選考委員会  
委員長 湯元 清文

TEL: 092-642-2673(ダイヤルイン)

FAX: 092-642-2673 or 2685

E-mail: yumoto@geo.kyushu-u.ac.jp

### 7. その他

- ・提出書類のうち, (4) 以外は全てA4用紙を使用すること。
- ・封筒に「応募書類在中」と朱書き, 簡易書留で郵送のこと。